

開催形式  
Web  
開催

# 東海エリア 眼科シンポジウム2022 第1回

開催日程

2022年6月16日(木)19:00～20:30

■形式: ZOOM開催

■ZOOM URL: 第1回 東海眼科シンポジウム2022参加URL



第1部

座長



眼科診療Update

浜松医科大学

堀田 喜裕 先生

演者



合併症の少ない  
正常眼圧白内障手術

永本アイクリニック

永本 敏之 先生

演者抄録

サージによる後囊破損をはじめとして前房動搖に起因する術中合併症は多く、前房の安定性向上は合併症予防に大きく寄与する。センチュリオン®は、眼内圧をモニターし能動的に眼内圧をコントロールするアクティブフルイディクスによって前房安定性を向上させることに成功したが、ハンドピース内で眼圧変動を瞬時に検知するアクティブセントリーの開発によってさらなる前房安定性向上を実現した。このためアクティブセントリーを使用するだけで、後囊破損やチン小帯断裂などの術中合併症を減少させることができる。またアクティブセントリーを使用すれば、最大吸引圧を350～450 mmHgという高値に設定して手術効率を落とすことなく、眼圧を正常値の20 mmHgという低い値に設定しても、高い前房安定性を保ったまま手術することが可能になった。

正常眼内圧である20 mmHgを維持することにより、LIDRS (Lens-Iris Diaphragm Retropulsion Syndrome, いわゆる逆瞳孔ブロック)による激しい前房動搖と縮瞳、IMS (Infusion Misdirection Syndrome)による進行性浅前房化、AVD (Anterior Vitreous Detachment)による後囊拳上、IFIS (Intraoperative Iris Floppy Syndrome)の前房動搖と縮瞳も抑制でき、非常に安全性の高い手術が可能となった。講演ではその機序について解説させていただきたい。(永本アイクリニック 永本 敏之 先生)

第2部

座長



眼科症例検討会

愛知医科大学

瓶井 資弘 先生

演者



抗VEGF治療後に黄斑円孔を伴う  
黄斑部網膜色素上皮裂孔を発症した1例

岐阜大学

窪田 匡臣 先生

演者



網膜剥離に対する硝子体手術中に  
強膜裂傷を生じた一例

名古屋大学

岡戸 聰志 先生

演者



眼内レンズ脱臼への対応

藤田医科大学

関戸 康祐 先生

演者



IOL 強膜内固定中に生じた  
脈絡膜剥離

名古屋市立大学

木村 雅代 先生

演者



360-degree laser retinopexyとfocal laser  
photocoagulationのあいだ in PVR cases

三重大学

松井 良諭 先生